慶應義塾大学学術情報リポジトリ
Keio Associated Repository of Academic resouces

Title	機械学習によるID-POSデータ分析 : 顧客・ 商品同時分類と潜在優良顧客の特徴抽出
Sub Title	
Author	小松, 樹生(Komatsu, Mikio) 林, 高樹(Hayashi, Takaki)
Publisher	慶應義塾大学大学院経営管理研究科
Publication year	2015
Jtitle	
JaLC DOI	
Abstract	
Notes	修士学位論文. 2015年度経営学 第3047号
Genre	Thesis or Dissertation
URL	https://koara.lib.keio.ac.jp/xoonips/modules/xoonips/detail.php?koara_id=KO40003001-00002015-3047

慶應義塾大学学術情報リポジトリ(KOARA)に掲載されているコンテンツの著作権は、それぞれの著作者、学会または出版社/発行者に帰属し、その権利は著作権法によって保護されています。引用にあたっては、著作権法を遵守してご利用ください。

The copyrights of content available on the KeiO Associated Repository of Academic resources (KOARA) belong to the respective authors, academic societies, or publishers/issuers, and these rights are protected by the Japanese Copyright Act. When quoting the content, please follow the Japanese copyright act.

慶應義塾大学大学院経営管理研究科修士課程

学位論文（ 2015 年度 ）

論文題名

機械学習による ID-POS データ分析―顧客・商品同時分類と潜在優良顧客の特徴抽出―

主　査	林　高樹　教授
副　査	井上　哲浩　教授
副　査	高橋　大志　教授
副　査	住田　潮　特任教授

学籍番号	81430479	氏　名	小松　樹生

論 文 要 旨

所属ゼミ	林 高樹 研究会	学籍番号	81430479	氏名	小松 樹生

（論文題名）

機械学習による ID-POS データ分析―顧客・商品同時分類と潜在優良顧客の特徴抽出―

（内容の要旨）

小売業において大規模な顧客を適切に理解するために顧客セグメンテーションが欠かせない。また顧客は多くの場合商品によって買い分けをおこなっている。本研究は株式会社良品計画より提供して頂いた ID-POS データに対し機械学習の手法を用いることで、どんな商品カテゴリを買いに無印良品を利用しているかという顧客と商品の同時分類をおこない、ID-POS データから得られる情報との依存関係を把握することで潜在的な優良顧客の特徴抽出をおこなう。

具体的な方法論について以下に示す。

1. ID-POS データの購買商品についてのデータのみから LDA という手法を用いることで顧客と商品の同時分類をおこなう。
2. 上記で用いていないデータからデモグラフィック属性・購買状況属性・購買履歴属性の変数をつくる。その際、潜在顧客を表す clumpiness という指標を加える。
3. 1,2 のカテゴリに対しベイジアンネットワークを用いることで依存関係を把握する。